

演技 試験 問題 (男子共通)

次の課題の詩(1)を解釈し、自分なりに、その詩を語る主人公を設定して演じなさい。
続いて、主人公の心境に一番あった歌(2)を、即興で振り付け歌いなさい。

(1) 主人公 ここは宇宙の どのへんなのか

いまは時間の どのへんなのか

鉱物たち はてしなく大らかで

植物たち かぎりなくみずみずしくて

動物たち いつもまっ正直で

この数えきれないまぶしい物物物の中の

ひとにぎりの人間 ぼくたち

こいびとたち 美しく

父母たち やさしく

友だちみんな たのもしく

たべもの みんな おいしく

やらずにおれない素晴らしいこと

山ほど あって

生かされている!

自分で 生きているかのように

こんなに たしかに!

(2) 設定した主人公の、心境に一番あった歌を、即興で振り付け歌う。(歌は即興の曲でも既成の曲でも可とする)

「こんなに たしかに」まど・みちお

『二編の詩が ぼくにくれたやさしい時間』水内喜久雄 編著より